

山形県公立学校教員選考試験について Q&A

- ＜Q1＞ 特別選考には、どのようなものがありますか。
- ＜A1＞ 社会人特別選考、講師等特別選考、現職教員特別選考、教職大学院修了見込者特別選考、障がい者特別選考、スポーツ特別選考があります。
昨年度までの身体障がい者特別選考から障がい者特別選考に変更になります。
- ＜Q2＞ 併願には、どのような組み合わせがありますか。
- ＜A2＞ 次の①～④のいずれかの組み合わせで、併願することができます。
- | | |
|------------------|----------------|
| ① 第一志望：小学校 | 第二志望：特別支援学校小学部 |
| ② 第一志望：特別支援学校小学部 | 第二志望：小学校 |
| ③ 第一志望：中学校 | 第二志望：特別支援学校中学部 |
| ④ 第一志望：特別支援学校中学部 | 第二志望：中学校 |
- なお、併願をする場合には、両校種の教諭の普通免許状を有していなければなりません。
- ＜Q3＞ 平成 31 年度採用教員選考試験（平成 30 年度実施）の問題等を見ることが出来ますか。
- ＜A3＞ 可能です。
山形県庁 1 階の行政情報センターにおいて閲覧可能です。平成 29、30、31 年度採用教員選考試験の問題等（教職教養・一般教養、教科・科目、小論文、集団討議、模擬授業等、作文）を閲覧することができます。
実費になりますが、コピー、もしくは郵送での対応が可能です。
行政情報センター（TEL 023-630-3014）に相談してください。
- ＜Q4＞ 平成 31 年度採用教員選考試験の筆記試験の内容を教えてください。
- ＜A4＞ 筆記試験では、「教職教養・一般教養」（80 分）と「教科・科目」（110 分。ただし、一部の教科・科目と養護教諭は 90 分）を実施しました。
「教職教養」では、教育法規・教育史等の内容が中心でした。「一般教養」では、中学校・高校で学習する内容が中心でした。普段から新聞やニュース等に興味・関心を持っているかを確認するため、時事的な内容も出題しました。
なお、社会人特別選考、講師等特別選考、現職教員特別選考では、「教職教養・一般教養」のかわりに「小論文」を実施しました。
※2020 年度採用教員選考試験から、現職教員特別選考では「教科・科目」のみに変更になります。
- ＜Q5＞ 学習指導要領については、新旧どちらの内容が出題されますか。
- ＜A5＞ 2020 年度の小学校から順次、中学校、高校においても全面実施となることから、全校種で「新」学習指導要領による出題とします。

<Q6> 平成 31 年度採用教員選考試験の実技試験の内容を教えてください。

<A6> 実技試験の内容は、以下のとおりでした。

<小学校の体育（一次）>

- ・水泳 25 メートル（水中からのスタート）
- ・器械運動…マット運動、鉄棒運動のうちいずれかを選択

※2020 年度採用教員選考試験から、水泳のみに変更します。

<小学校の音楽（二次）>

- ・小学校第 5・6 学年学習指導要領による歌唱共通教材のうちから、任意の 1 曲を選び、伴奏譜によるピアノ演奏。また、同様に任意の 1 曲（ピアノ演奏の曲と違って可）を選び、伴奏なしによる歌唱。なお、ピアノ演奏の伴奏譜、歌唱の際の調は、特に指定しない。

※2020 年度採用教員選考試験から、ピアノ演奏のみに変更します。

<小学校の外国語活動（二次）>

- ・英語による簡単な自己紹介と日常会話

<中学校・特別支援学校中学部・高校の音楽（一次）>

- ・新曲視唱、新曲視奏、ピアノ演奏、歌唱指揮
- ・随意選択演奏（歌唱または器楽）

歌唱…任意の一曲を歌う。自分で伴奏しながらも可。

器楽…任意楽器で任意の一曲を演奏する。

<中学・特別支援学校中学部・高校の美術（一次）>

- ・水彩画、立体構成

<高校の書道（一次）>

- ・毛筆、硬筆

<中学校・特別支援学校中学部の技術（一次）>

- ・木材加工、電気回路の設計と製作

<中学・特別支援学校中学部・高校の家庭（一次）>

- ・調理、裁縫

<中学・特別支援学校中学部・高校の保健体育（一次）>

- ・水泳 50 メートル

- ・次の領域から 2 領域選択

陸上競技、器械運動、球技（バレーボール、バスケットボール、サッカーのうち 1 種目）、武道（柔道、剣道のうち 1 種目）、ダンス

<中学・特別支援学校中学部・高校の英語（一次）>

- ・英語による面接

<養護教諭（一次）>

- ・救急処置

＜Q7＞ **二次試験で出題された作文のテーマを教えてください。**

＜A7＞ 本県で出題された過去3年間のテーマは、以下のとおりです。
いずれか一つのテーマが指定されます。

＜平成29年度採用教員選考試験＞

「日本人が大切にしたい文化」

「学び続ける児童生徒を育てるために」

「子どもや保護者とのコミュニケーション」

「心豊かな児童生徒を育てるためには」

＜平成30年度採用教員選考試験＞

「学校だからできること」

「ふるさとを愛する子どもを育てるには」

「教えることの責任とは」

「探究する児童生徒を育てるには」

＜平成31年度採用教員選考試験＞

「大人として、生徒に伝えたいこと」

「悲しみの乗り越え方」

「最も苦勞したこと」

「いま教師に求められている資質とは」

「山形の高校生に気付いてほしいこと」

＜Q8＞ **教員選考試験の得点等は、どのような形で教えてもらえるのですか。**

＜A8＞ 試験の結果通知とともに、受験者全員に以下の情報を提供します。

・ 第一次選考試験

筆記試験、実技試験、集団討議の得点、加点及び総合ランク

・ 第二次選考試験

個人面接、模擬授業等、作文、実技試験の得点及び総合ランク

＜Q9＞ **講師等の臨時教員を希望する場合、どのようにしたらよいか教えてください。**

＜A9＞ 本県では、登録制を採っています。新規登録する場合には「臨時教員等登録申込票」に必要事項を記入のうえ提出し、その後面接を行った上で登録となります。

詳細は、ホームページの「臨時教員等の登録について」をご覧ください。なお、本県の教員選考試験を受験された方には、結果通知書とともに「臨時教員等登録申込票」を送付しています。